

登録コード	UAF14500	開講年度	2026				
授業題目	国際精神保健学演習					担当教員	友川 幸
						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限		
				授業形態	演習		
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学						
	【心理】心理学分野の高度な知識・技能を有する。				国際精神保健分野の高度な知識・技能を有する。		
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。				地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を獲得する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を獲得する。		
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。				多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を獲得する。		
(2)授業の概要	国際機関のレポートや統計データなどを用いたり、特定の国または地域のレベルでの情報を収集し、当該国または当該地域の子ども及び成人に関する近年の精神保健活動の課題とその対策について、受講学生がプレゼンテーションをする。また、グループでの議論を通して、精神保健を阻害する経済、社会的な要因、および精神保健が経済発展や開発に与える影響について知り、自分なりの考えを持ち、議論することができるようになる。また、海外で実施されている実際の精神保健活動を学ぶことを通して、ライフステージに応じた適切な精神保健管理の方策と、教育現場における精神保健の向上のための活動の重要性を理解し、学校現場における適切な精神保健活動の必要性を説明できるようになる。						
(3)授業計画	第1回：ガイダンス（講義予定と授業評価について） 第2回：東アジア地域のメンタルヘルスの課題と対策 第3回：東南アジア地域のメンタルヘルスの課題と対策 第4回：南アジア地域のメンタルヘルスの課題と対策 第5回：大洋州地域のメンタルヘルスの課題と対策 第6回：オーストラリアのメンタルヘルスの課題と対策 第7回：東ヨーロッパ地域のメンタルヘルスの課題と対策 第8回：西ヨーロッパ地域のメンタルヘルスの課題と対策 第9回：北欧地域のメンタルヘルスの課題と対策 第10回：北米地域のメンタルヘルスの課題と対策 第11回：南米地域のメンタルヘルスの課題と対策 第12回：中米地域のメンタルヘルスの課題と対策 第13回：アフリカ地域(サブサハラ以外)のメンタルヘルスの課題と対策 第14回：サブサハラ地域のメンタルヘルスの課題と対策 第15回：中東地域のメンタルヘルスの課題と対策 レポート提出、授業アンケート						
(4)成績評価の方法	授業のねらいの到達状況をはかるための 1) 海外での精神保健活動に対する基礎的な知識の習得と理解の深まり評価するレポート(40点) 2) 授業内容の理解と自己学習の状況の評価するための授業ノート(30点) 3) 学校や地域の現場で求められる精神保健活動についての洞察の深まりを評価するレポート(30点) 上記をもとに総合的に評価する。得点率による評価基準は次のとおりとする。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(5)成績評価の基準	・レポートの場合： ()問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。 ・授業ノートの場合： (i) 授業のレジュメが印刷，貼りつけされている，()授業内容に関するコメントが記載されている， ()授業に直接関係することに関して，自分で調べた情報が記載されている，()授業に関する応用的な内容に関して自分で調べた情報が記載されている，()自分で調べた内容に関して批判的考察がされている。()から()の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」と評価する。						

(6)事前事後学習の内容	eALPS上に次週の授業内容を掲載するので、ダウンロードして予習しておくこと。自宅学習では、専門書、新聞、ニュース、インターネットなどを用いて、授業で扱った内容や、国際的な精神保健に関する情報について学習すること。授業内で十分に理解できなかった事項は、授毎回の授業時に、予習または復習しておくべきことを指定する。さらに、前週の授業内容の理解や事前事後学習の状況を問うスピーチを授業冒頭にしてもらう場合がある。この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(7)履修上の注意	毎回の授業で指示された資料（英文で書かれた文献、資料等）を事前に読み込んで参加すること。B5サイズのノートを1冊用意し、授業内で学習した事項をまとめる。また、自宅学習の成果を記録すること。授業内で十分に理解できなかった事項は、授業内で紹介する書籍などを用いて、自宅学習を行うこと。レポート作成時に使用する資料は、情報の正確さに欠けるインターネットの情報のコピーや出所の不明瞭な情報を使用しないこと。授業に関する質問は、基本的に授業内で確認し、授業内で解決できなかった質問については、sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。授業への遅刻、授業に関係ない作業（授業中の飲食、他の授業のテスト勉強や提出物の作成、携帯電話の使用）を禁止する。レポートは、定められた期日までにE309のポストに提出すること。2021年度は後期に集中授業として開講する。履修を希望するものは、担当教員にメール連絡をして、開講日程等を相談すること。
(8)質問,相談への対応	授業に関する質問は、基本的に授業内で確認するようにし、授業内で解決できなかった質問については、sachitjp@shinshu-u.ac.jpにメールで質問すること。オフィスアワーは、E309で火曜日12:20-12:50に行う。オフィスアワーの時間に面会を希望するものは、必ず事前に、メールか電話で連絡をすること。電話番号は、026 - 238 - 4167
【教科書】	独自に作成したプリントを配布する。
【参考書】	国際保健医療学会（2013）国際保健医療学、杏林書院